



お江戸舟遊び瓦版 935号

水彩都市江東 ころろ美しい日本の再生 安全・安心まちづくり
お江戸観光エコシティ・お江戸舟遊びの会 江東区千田 13-10

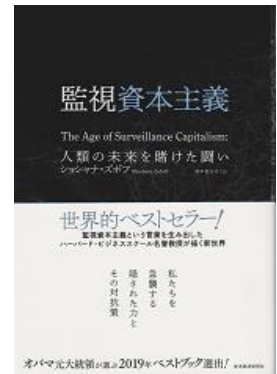
シヨシャナ・ズボフ 野中香方子訳 「監視資本主義 人類の未来を賭けた闘い」 東洋経済新報社 21.7.8 (11)

第2部 監視資本主義の発展

第8章 経験からデータへ

I. Sur-Render という言葉

- ・ 私達は、企業が個人データを大量に収集することを案じ、なぜ彼らは儲かるのか、と不思議に思う。そして、「誰がデータを所有するのか」と問う。「なぜ、私達の経験は行動データにされるのか?」。この重要なステップは、余りにも容易に見過ごされている。経験とデータの隔たりと、この隔たりを埋めようとする操作に注目する。
- ・ 私は、この操作を「レンディション」と呼ぶ。人間の経験を強奪することだが、監視資本主義の原罪であることは見てきたが、この強奪は単なる抽出ではない。レンディションとは、人間の経験が、データ化、製造、販売のための原材料として奪われることなのだ。
- ・ レンディションは、二つの意味を持つ
 - ② あるもの「A」を別のもの「B」に変える行動を示す。
 - ② 変えられるものがレンダリング降伏・引渡されることだ。
- ・ 監視資本主義が生まれる1年前にジョージア工科大学の「アウェア・ホームプロジェクト」は、監視資本主義とは全く異なる3つの仮定に基づいていた。
 - (1) 個人のどの経験をデータ化するかは、本人が決める。
 - (2) データ化は、個人の生活を豊かにするために行われる。
 - (3) データがどのように共有され利用されるかは本人が決める。
- ・ それから20年が過ぎた今、この構想は考古学的異物に成り果てた。人をかづけるデジタルの未来にも、公平な知の分割にも向かわなかった。2017年、自律型掃除機ルンバを製造するアイロボットは、マッピング機能を搭載し、顧客の家の間取り図を取得し、売却するというものだ。更に主力製品にはカメラ、センサー、ソフトウェアが搭載されており、自分の位置を追跡しながら地図を作成するなど、新たな機能が使用できるようになっている。このため市場は、1年前に35ドルの株価が102ドルに上昇した。時価総額は25億ドルになり、6億6千万ドルの収益をもたらした。
- ・ プライバシーの専門家は、このデータ・ストリームには法的保護や機密保持義務が伴わないことを警告した。ルンバのユーザーは、使用状況データの管理を停止できていることになっているが、ルンバはマッピングデータと使用状況データを取得する。
- ・ 大学の優秀な科学者によって開発され、商品化しつつある「スマート・スキン（肌に貼るパッチ状のセンサー）」は、当初パーキンソン病の患者のための診断能力を評価されていたが、今では電波やその他のエネルギー源からエネルギーを吸い取る、バッテリー不要の「スマート・スキン」を開発した。スマート・スキンは、永久的なワイヤレス・ネットワークを大量に実現できる究極のセンサーとみられている。



II. 身体のレンディション

- ・ あなたの身体のレンディションは、携帯電話から簡単に始まる。監視資本主義者は、あらゆる方法を駆使して行動余剰を見つけ、もっとも単純なのは、あなたがどこにいるかを正確に知る方法だ。位置データは、スマートフォンがあなたの身元や位置を写真やビデオに自動的に埋め込む時に作成

